

# RFGW-1-D



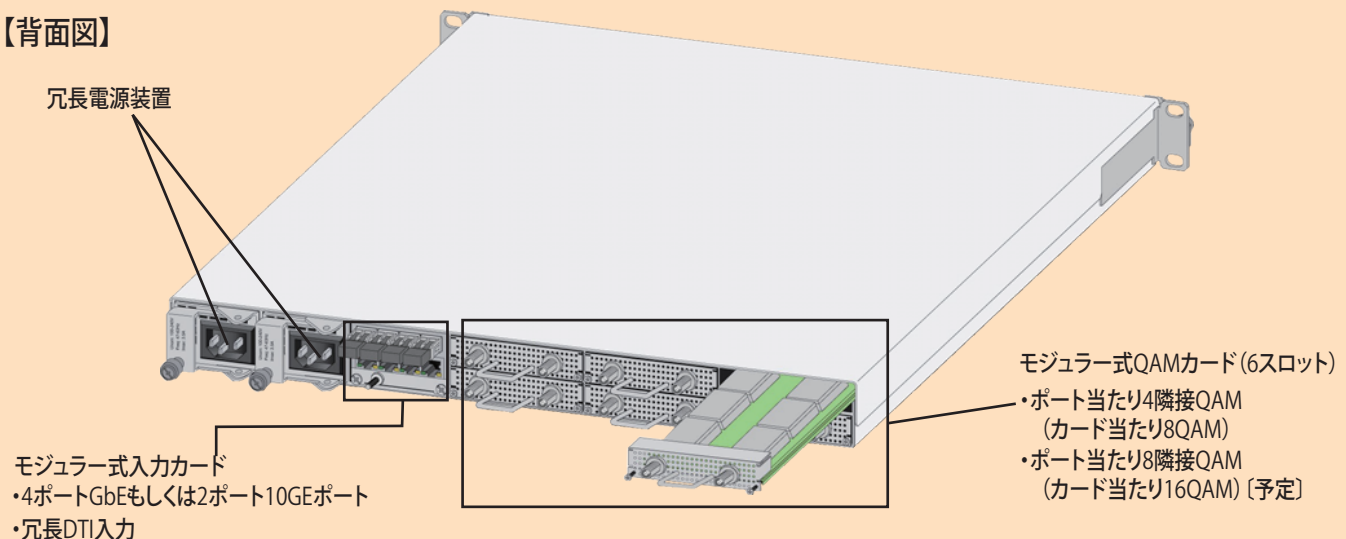
## 概要

DOCSIS 3.0の特徴の一つはチャンネルボンディングですが、もう一つの大きな特徴は、従来のCMTS構成を大きく変えるモジュラーM-CMTSが挙げられます。超高速インターネットの他、放送、VoD、VoIPなど、次世代IPサービスに対し、ケーブルモデムの可能性を最大限に引き出します。Cisco社のRFGW-1Dは、M-CMTSに完全準拠したユニバーサル・エッジQAMモジュレータで、従来よりもより高密度かつ、高い柔軟性を持っています。また、DOCSIS 3.0、モジュラーM-CMTS、VoDの様々な帯域をサポート、相互接続性と拡張性に富んでいるため、1QAMチャンネルたりのコストを抑えることができ、コストパフォーマンスにも大変優れています。

## 特徴

- 最大48QAMを実装 (筐体当たり)
- 最大6QAMカードを実装 (筐体当たり)
- 最大12RFポートを実装 (筐体当たり)
- 冗長DTI入力
- 1GHz帯域対応
- DOCSIS 3.0対応
- HD及びSD対応
- ビデオ・スクランブル対応可能

### 【背面図】



**仕様**
**仕 様**

<b>GbE入力インターフェース</b>	
入力数 コネクタ インターフェース・タイプ 入力データ・レート シンタックス デジッタ・バッファリング	2+2(冗長用)または4(独立・最大2Gbps以下) 光/SFP又はRJ-45SFP IEEE802.3ab(電気)またはIEEE802.3z(光)準拠ギガビット・イーサネット フル・ライン・レート VBR and CBR MPEG SPTS on UDP(RFC-768),RTP,L2TPv3,IGMPv3 150ms
<b>RF出力</b>	
出力数 コネクタ 周波数 レンジ ステップ・サイズ 安定性 精度	最大12の物理RFポート(それぞれ4つのQAMチャンネルを備える) Fタイプ、75Ω チャンネル・エッジが45~1000MHzの間にあること(調整可能) 1kHz ±3ppm ±3ppm
<b>チャンネル帯域幅</b>	
レベル 4チャンネルモード 2チャンネルモード 1チャンネルモード 安定性 精度	QAMチャンネルあたり53dBmV RMS,0.5dBステップ QAMチャンネルあたり57dBmV RMS,0.5dBステップ QAMチャンネルあたり61dBmV RMS,0.5dBステップ ±1db ±1db
リターンロス	> 14dB 45-750MHz > 13dB 750-870MHz > 12dB 870-1000MHz DOCSIS 3.0DRFI仕様 CM-SP-DRFI-103-060106
<b>管理インターフェース</b>	
インターフェース・タイプ コネクタ プロトコル	イーサネット10/100 BASE-T RJ-45 HTTP,SNMP,FTP,RPC
<b>その他のインターフェース</b>	
DTI コンディショナル・アクセス	2 RJ-45プライマリ/冗長 イーサネット10/100 BASE-T
<b>信号仕様</b>	
チャンネル符号化 MER(イコライザ前) MER(イコライザ後) BER(256QAM)  QAMコンステレーション	ITU-T Annex A,B,C準拠ランダムマイゼーション、リード・ソロモン、トレリス及びインターリーブ ≥40dB(RF) ≥45dB(RF) ≤5.0 <sup>-9</sup> (ITU-A/C プレFEC) ≤1.10 <sup>-13</sup> (ITU-B プレFEC/ポストトレリス) 64及び256QAM
<b>環境仕様</b>	
動作温度 耐久温度 標高 動作湿度 電源 動作電源電圧範囲 消費電力(全負荷)	0℃~+50℃ -40℃~+70℃ -200~+10,000フィート ASML 0%~95%(結露のないこと) 100~240V ACまたは-48V DC 90~254V ACまたは-38~-58V DC 標準375W、最大410W
<b>物理的仕様</b>	
寸法 重量	幅482.6mm × 奥行き533.4mm × 高さ44.45mm(1RU) 13.4kg


**安全に関するご注意**

正しく安全にお使い頂くため、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。尚、据付け・取付けの不備、誤使用、改造、天災などによる事故・損傷については、当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。